

なかがわ



No.63

広報

2010. 12

- 文化スポーツの秋！町内各地でイベント開催 2
- マイチャレンジ「中学生職場体験」 4
- 産学官連携新商品デザイン事業参加者募集 5
- 保健師のいきいき通信「高齢者の寒さ対策」 6
- 那珂川町再発見 日本再発見 第19話「脇道」 7
- とちぎの子ども育成憲章の制定について 8



内各地でイベント開催

第6回那珂川町文化祭

11月6日、7日の2日間、町総合体育館で文化の秋を彩る書道や文芸、写真などの作品が展示され、大勢の見学者で賑わいました。また、馬頭総合福祉センターでは13日に邦楽民謡舞踊祭が、21日には歌謡祭が開催され、出演者の皆さんは日頃の練習の成果を披露していました。



菊花展・菊花盆栽展

11月1日から8日まで南町小公園で那珂川町文化祭菊花展が、2日から7日まで小川総合福祉センターあじさいホール前で第39回小川菊花盆栽展がそれぞれ開催され、町内の愛好家の皆さんが自慢の作品を展示していました。



第7回広重紅葉まつり

11月14日、南町小公園周辺では、那珂川町商工会まちなづくり委員会主催の広重紅葉まつりが開催され、ゆりがねマラソンと同時に開催だったこともあり、多くの人で賑わいました。

また、夜の馬頭広重美術館周辺での紅葉ライトアップでは、訪れた皆さんが秋の夜長を満喫していました。



文化・スポーツの秋！町



11月14日、第29回ゆりがねマラソン大会が開催されました。遠くは神奈川からの参加者も含め、350名のランナーの皆さんは、山村開発センターを発着点に馬頭市街地の特設コースを疾走、沿道からは多くの声援が送られました。

競技終了後には、今回のゲストランナーで世界選手権の女子マラソンで優勝し、アトラクタ五輪にも出場した浅利純子さんによるスポーツ教室が開催され、マラソンを早く走る秘訣のほか、スタート前にお餅を10個食べてから大会に臨んだなどの現役時代の裏話に参加者の皆さんは興味深く聞き入っていました。



- 第29回ゆりがねマラソン大会**
- 町内の上位入賞者（敬称略）
- 2 km小学生男子
 - 第3位 磯 隼人（小川）
 - 2 km親子ペア
 - 第2位 佐藤隆之・優悟（小川）
 - 3・5 km中学生男子
 - 第2位 長山 奨（小砂）
 - 第3位 佐藤 翼（大内）
 - 3・5 km中学生女子
 - 第2位 益子香緒理（大山田下郷）
 - 5 km中学生男子
 - 第3位 佐藤奈々海（大内）
 - 5 km中学生男子
 - 第2位 星 侑貴（矢又）
 - 第3位 長山 瑞季（小砂）
 - 5 km一般男子
 - 第3位 菊池 翔大（大山田上郷）
 - 10 km一般男子
 - 第1位 高林 大樹（大山田下郷）
 - 第3位 川上 博彰（小川）
 - 10 km一般女子
 - 第1位 佐藤 璃穂（大山田下郷）



第29回県北少年剣道大会

今年で29回目を迎えた県北少年剣道大会が11月21日、小川体育館で開催されました。

開会式で、馬頭中央剣道スポーツ少年団の星海斗選手が力強い選手宣誓を行った後、県内8市町から集まった17団体162名の少年剣士たちは、日ごろの鍛錬の成果を発揮し、熱戦が繰り広げられました。

大会は、小学4年生から6年生までの学年別・男女別のトーナメント戦で行われ、試合会場には、剣士たちの気合の入った掛け声が響き渡っていました。



小川分署



わかあゆ保育園



マイ・チャレンジ



中学生職場体験

地域の人々のかかわりを主とした社会体験学習を通して、生徒の望ましい勤労観、職業観を育み、また、地域における教育力の掘り起こしを目的に馬頭中学校と小川中学校では、「マイ・チャレンジ」活動を実施、中学2年生153名が60事業所で就業体験をしました。11月8日から12日の5日間（馬頭中学校生は10日から12日の3日間）に渡る体験を通して、生徒の皆さんは、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、言葉遣いを習得し、学校では学べない貴重な体験に真剣に取り組んでいました。



うおまつ



アイス工房 武茂の郷



日進堂



サンタヒルズ



馬頭南保育園



深澤自動車

那珂川町産学官連携新商品デザイン事業参加者募集

新商品を開発しようとしている方でデザインにお困りの方、宇都宮メディア・アーツ専門学校の生徒と一緒に新商品を開発してみませんか？



1. 事業概要

那珂川町では、中小企業等の商品開発力及び商品デザインの向上、また、宇都宮メディア・アーツ専門学校の学生の実践的な学習研究を行うため、企業と学生のマッチングの場を設け、商品のデザイン製作に取り込む「那珂川町産学官連携新商品デザイン事業」を実施します。

2. 事業の流れ

①企業等募集→②参加企業等決定→③企業等による学生へのプレゼンテーション・意見交換会→④学生による企業等へのプレゼンテーション・デザイン選考会→⑤商品化へ向けてのマッチング

3. 対象者

町内の中小企業者、産地組合等

4. 募集数

1事業者程度

5. 応募方法

所定の様式に必要な事項を記入し、添付書類とともに商工観光課まで郵送または持参してください。

6. 応募締切

平成23年1月21日(金)※必着

7. 問い合わせ

商工観光課 商工係 ☎0287-92-1116

12月1日をもって、民生委員児童委員が改選されました。

民生委員児童委員は、厚生労働大臣から委嘱され、生活に困っている方、児童・障害者・高齢者等で問題を抱えている方々に相談、助言、情報提供を行う皆さまの相談役です。困ったことがある場合は、地域の民生委員児童委員にご相談ください。

氏名	担当地域	電話番号	氏名	担当地域	電話番号
山田 豊子	新町上	92-2628	屋代 康夫	大山田下郷下	93-0451
石河 悦夫	新町下	92-2636	益子 勝行	大山田下郷上	93-0256
筧 良夫	室町	92-2102	屋代 博一	大山田上郷下	93-0345
海老澤 均	南町	92-2142	屋代 定	大山田上郷上	93-0446
笹沼 之子	田町1	92-4549	笹沼 喜一	小砂下	93-0075
川上 英子	田町2	92-4103	藤田 亨	小砂上	93-0833
岸 三男	田町3	92-2058	川上 洋子	第1区	96-3988
大森美也子	田町4	92-2620	佐藤 勉	第2区	96-2773
田代 和男	片根	92-5695	薄井イツ子	第3区	96-4398
岡田 悦子	健武下	92-2120	山本 一枝	第4区	96-3183
田村 里子	健武上	92-2218	小泉 トヨ	第5区	96-3277
菊池 善昭	矢又下	92-2727	星 力	第6区	96-3180
大金 和子	矢又上	92-5237	鈴木 英一	第7区	96-2787
星 光子	和見下	92-3282	荒牧スミ子	第8区	96-2693
小高 一男	和見上	92-2261	永森 博	第9区	96-2692
大森 茂	小口下	92-5601	瀧田 敏夫	第10区	96-3313
森 清一	小口上	92-4406	塚原 ヤエ	第11区	96-2348
稲澤 フク	北向田	92-4737	秋元 義美	第12区	96-2648
齋藤 圭子	久那瀬	92-5821	福島 恵子	第13区	96-2278
小幡 君子	松野	92-5293	伊藤 妙子	第14区	96-2961
平塚ふみえ	富山下	92-5448	《主任児童委員》		
高野 洋子	富山上	92-5153	高野 恵子	馬頭西地区	92-3529
星 和子	盛泉	92-3636	露久保輝雄	馬頭東地区	92-2362
岡本 輝	谷川	92-2818	佐々木文子	小川地区	96-3658
横山 昇	大内下	92-2879	■問い合わせ 健康福祉課 ☎0287-92-1119		
笠井 英子	大内上	92-3631	小川庁舎総合窓口課 ☎0287-96-2111		
笠井 和枝	大那地	92-3736			

高齢者の寒さ対策

朝夕の寒さが身にしみる季節です。寒くなるほど、高齢者の皆さんにとっては、外出や動くことが億劫になってきます。今回は、寒さによる体の変化や寒さを上手に乗り切る方法について考えてみましょう。

◆痛みや血圧に悪影響

寒さにより末梢の動脈の収縮が起こると、冷え性、腰痛、関節痛、しびれなどが悪化してしまいます。痛みのある部分は、冷やさないような注意が大切です。

足元を暖めるような暖房器具（床暖房、ホットカーペット、こたつ）とエアコンやヒーターの組み合わせも効果的です。女性の方は、レックウォーマーをはくと随分暖かさが違います。



また、末梢血管が収縮すると血圧が上昇します。血圧上

昇が原因による脳血管疾患や心筋梗塞が多発する時期でもあります。血圧管理には十分注意することが大切です。



◆体温調整が低下

寒くなると血管が収縮して体温を外に逃さないというよきな体温調整機能がありますが、その機能が高齢者になると低下してしまいます。しかも寒いときには、衣服を重ね着し、暑くなると脱ぐといった気温に対する対応が億劫になります。すると、寒い外から暖かい室内に入っても、着ぶくれたまままで汗をかいているという状態が起こりやすくなります。

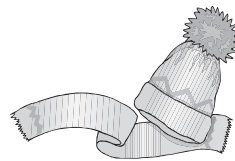


◆着ぶくれ対策

風邪をひかないように厚着をしてしまいがちですが、逆にそれが原因で風邪をひく場合も多くあります。分厚い服を1枚着るよりも、薄めの服

を重ね着する方が暖かくなり、調整もし易くなります。また、最近では薄くて保温性の優れた素材のものが多く出ていますので、買い求めるのもよいでしょう。

また、暖かい場所では、上着、手袋、帽子、マフラー等を脱いで、体温を下げるようにしましょう。



◆転倒対策

厚着により、とっさの行動が鈍くなります。また、手袋をしていないために、杖をしっかり握れなかったりします。で、転倒の危険性が高くなります。時間の余裕をもち、焦らずに、ゆっくりと行動するように心がけましょう。

これから寒さも厳しくなります。ご家族や地域の皆様も、高齢者の方々が安全にこの冬をのりきれるよう、温かな気持ちで支えていただければ幸いです。

子育て支援センター
わがあゆ

☎0287-96-5223

☆楽器をつくろう☆

12月22日(水) 10:00 ~

ペットボトルや封筒を使ってマラカスなど楽器を作ってみませんか? 曲に合わせて音を出して(演奏?) みんなで楽しみましょう!!

(ミニクリスマス会)
申し込みは
12月18日まで。
人数は20組とします。



当センターは、0歳から就学前のお子さんやお母さん、おうちの方の交流の場です。

利用日時： 月曜日～金曜日
9:00～12:00
13:00～17:00



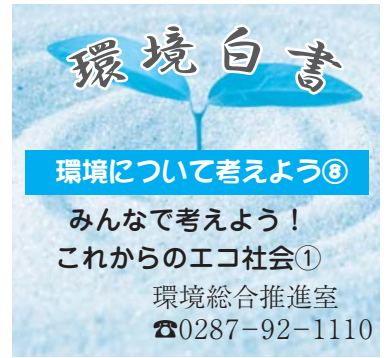
親子で遊ぶ姿を見て!

他のお母さんと子どもが遊ぶ姿や会話、ことばかけなど、子どもとの関わり方を見て、自分が気づかなかったことや我が子の違った面、長所を発見するかもしれませんよ!

☆おはなし会☆

1月12日(水) 10:00 ~

「年齢に応じた躰しつけについて」
テーブルを囲んで大喜先生とお話ししてみませんか? 申し込みは1月11日まで。



国では、低炭素社会に向けた12の取り組みを行っています。(前編)

■暮らし

①自然にやさしい暮らし
住宅や会社では、屋上に植物を植えたり、高効率給湯器や太陽光発電を設置するなど、環境にやさしい設備が取り入れられています。

②買う↓賢く借りる
最先端の省エネ機能がついた自動車や電気製品などは、使用回数や利用状況を考えて、必要ときに使いたいだけレンタルするという考え方も大切です。

■産業

③地域の恵みを旬に食べる
遠い地域からたくさんエネルギーを使うよりも、その地域で採れた旬のものを食べることが

低炭素社会につながります。

④木のある暮らし
木はうまく活用すれば繰り返し使える資源になります。木材を利用した住宅や公共施設づくり、木くずなどをエネルギーに活用することが大切です。

⑤企業努力の公表
多くの企業が低炭素製品の開発やサービス向上に力を注いでいます。その努力を公表することで、企業はさらなる努力を続け、消費者にとっては低炭素社会・サービスを選ぶ目安にもなります。

■運輸

⑥スムーズな流通
例えば、必要な物の量が始めから分かっていたら、必要ない分の生産をおさえてエネルギーのムダ使いが減らせます。このようなムダを減らすために、材料の調達↓製造↓運搬↓販売に係る人々が、情報交換を行っています。

※⑦～⑫の取り組み(後編)については、1月号で紹介いたします。

環境省総合環境政策局環境計画課
「こども環境白書」より引用

水道管の「凍結防止」対策はお済みでしょうか？

次のような場所は特に水道管が凍りやすいため凍結防止対策をしてください。

①「むき出し」の場所
②建物の北側で日陰の場所
③風当たりの強い場所

凍結防止対策

- ・「むき出し」の箇所には毛布や保温材を巻きつけましょう。
- ・使用後は水抜き栓を締め、蛇口の水抜きをしましょう。
- ・電熱ヒーターを使用する場合は、断線・漏電など使用前に点検をしましょう。

凍結した場合の対応

凍結した蛇口や水道管にタオルをかぶせ、ゆっくりとぬるま湯をかけてください。

水道管が破裂した場合

町指定給水装置工事業者に修理を依頼しましょう。

工事費用は使用者の負担ですが、漏水により急増した水道料金の減免措置に該当する場合がありますので、上下水道課に連絡してください。

水は限りある資源です。節水にご協力ください。

問い合わせ 上下水道課
0287-92-2002

那珂川町再発見 日本再発見

ケビン ブラックバーン

第19話 「脇道」

過去20年間の仕事で僕は、那珂川町内ほとんどの学校、幼稚園、保育園を訪問したため、多少の土地勘ができています。運転は嫌いではないですが大好きとも言えません。用事を済ますこと以外はあまり運転をしていません。もし、キノコ狩り、山登り、外食が好きだったら、もっと運転の冒険心があるでしょうが、僕の趣味は畑、料理と読書で、あまり運転の必要がありません。

しかし、役場の職員は、交替で安全パトロールを実施しています。青色回転灯が装備されている車で、那珂川町を巡回し、防犯活動をしています。児童生徒の下校時の安全確保などのため、我々のパトロールは時間が許す限り町の隅々を走ります。町内や学校周辺は見慣れています。脇道に入れば入るほど、僕にとって「奥の細未知」の世界に入ります(ダジャレを許して下さい)。

まず、第一印象は、多くの町民は自然の中で、様々なとても素敵な環境に住んでいると思いました。パトロール中に目に入るのは、昔の水墨に写された景色そのままです。僕は、初めて日本の美術と触れた後、「日本」と聞くと頭に浮かぶのはこの風景です。近代化された日本にはこのような場所がまだ残っていることがうれしいです。「小学生は毎日、このきれいな景色を眺めながら登下校している」と考えると少しうらやましいです。

次の印象は、自転車、バイク、車やデマンドタクシーなど交通機関の大切さです。那珂川町に滞在している間、僕は4カ所に住んでいましたが、いずれも役場や小川庁舎から徒歩で20分範囲内です。しかし、「脇道」の皆さんは、役場まで歩くことは非常に難しいでしょう。生活の不便が明らかですが、最も心配するのは孤独感です。

最後の印象は、那珂川町についてではなく、自分個人について話せば、やはり、人生のなかでも幹線だけでなく、ときどき「脇道」も歩くべきです。

とちぎの子ども育成憲章の制定について



栃木県では、青少年の健全育成を図るため、「栃木県青少年健全育成条例」や「青少年プラン」に基づき、「家庭の日」の取り組みなど、各種施策を推進してきました。

しかし、今日、地域や家庭の教育力低下が問題視されていることから、大人が子どもを育てる役割と責任を果たしていくための具体的なものを分かりやすく示し、取り組んでいくことが必要です。

そこで、心豊かでたくましい青少年を育むために、大人の自覚と行動をより一層促し、子どもを健全に育てていく基本理念や行動指針として、平成22年2月に「とちぎの子ども育成憲章」を制定しました。



「とちぎの子ども育成憲章」

明日を担う子どもたちが 夢と希望を持ち

心豊かでたくましく成長することは 県民すべての願いです

わたしたちは 子育てに積極的にかかわり

子どもたちをみんなで育てていく決意を込め ここに憲章を制定します

わたしたちは 1 子どもたち一人ひとりを尊重し 命を大切にします

1 子どもたちとのかかわりを深め 思いやりの心をはぐくみます

1 子どもたちとともに 学び 喜び 励ましあい 社会の一員としての自覚を育てます

1 一人ひとりが子どもたちの手本となるよう行動します

1 とちぎの豊かな自然 伝統 文化を守り 子どもたちに引き継ぎます

農業従事者の皆さん！農業者年金に加入しましょう

国民年金の第1号被保険者で、年間60日以上農業に従事する60歳未満の方は、誰でも農業者年金に加入できます。

(注) 農業者年金に加入される方は、国民年金の付加年金(月額400円)への加入も必要となります。

保険料は月額2万円～6万7千円(千円単位)で自由に選択、状況に応じていつでも見直せます。一定の要件を満たす方は、政策支援として月額4千円～1万円の保険料補助があります。

支払った保険料の全額が、社会保険料控除の対象となり、所得税・住民税の節税につながります。

年金は原則65歳から受け取ることができます。また、80歳までに死亡した場合でも、80歳までに受け取れるはずであった老齢年金の現在価値に相当する額が、死亡一時金として遺族に支給されます。

問い合わせ 農業委員会 ☎0287-92-1185

農地パトロール (利用状況調査) の実施について

町と農業委員会では、12月～1月を農地パトロール月間とし、町内の全地域を対象に農地の利用状況調査を実施します。

農業委員が中心となって農地のパトロールを行いますので、農家の皆さま方には、調査のご理解とご協力をお願いいたします。

問い合わせ

農業委員会 ☎0287-92-1185

寄贈ありがとうございます

○福祉基金へ

十万円 磯野 進様(北向田)

十万円 川崎 輝様(馬頭)

○奨学基金へ

十万円 藤田和夫様(和見)

○教育文化基金(図書館)へ

十万円 藤田和夫様(和見)

○図書館へ

十万円 益子和也様(久那瀬)

十万円 川崎 輝様(馬頭)

図書「涼宮ハルヒの憂鬱(12巻)」
友田哲也様(馬頭)

○馬頭広重美術館へ

一万二千円二百円

な の 英十五周年記念ゴルフ

参加者一同様(白久)

○社会福祉協議会振興基金へ

二万円 益子和弘様(健武)

十万円 藤田和夫様(和見)

○社会福祉協議会善意銀行へ

八千円 匿名(433回)

十万円 國安隆夫様(吉田)

一万五千七百七十五円

眞島良子様(小川)

○社会福祉協議会事業へ

十万円 福田光男様(谷川)

三万六千四百二十六円

ほのほの営農集団

代表岩村文郎様(松野)

広報文芸

俳句

時雨^{しぐ}るるや土間に古びし掛時計
空の色映して濃ゆき野菊かな
若者の売り声高し新秋^{あき}刀魚^{さかな}
秋の虫コーヒー党は眠れない
空の群青極め尽して鷹渡る
野仏の顔ひとそぎに那須野分

矢又 星 幸子
小 砂 藤田 マス
松野 青木 俊蓉
久那瀬 堀江 直子
小川 和泉すみを
谷田 荒井 大作

短歌

つばくろは事なく巢立ちぬ穀二つ雀の攻撃まぬがれたらし
高台の校舎を照らす没り日濃し嗚呼山峡に深ぶかと秋
朝あさの卵一個のタンパク質に億個の細胞支えらるるや
幾年も実を拾う幸受けてきし栗の古木を伐ると決意す
望まぬに毎夜目覚める午前二時ラジオの深夜便でも聞こう
赤松の枝の剪定に余念なき庭師の先は冬の青空

和見 小高 歌子
馬頭 西宮 定子
馬頭 佐藤 節子
小川 古澤 實
三輪 石澤千代子
吉田 塚原 タイ

川柳

睨んでも子供は知らず悪さする
夢に出た名句寢床に置き忘れ
酔いどれの夫の愚痴に生欠伸
割り込みが周囲の目から追い出され
睨まれてるな路線を外される
生欠伸移し合ってる無人駅

谷田 岡崎 友子
大内 郡司 正幸
大山田下郷 佐藤 有紀
小川 平澤 照雄
薬利 大崎 克明
谷田 岡崎 甫子



新着図書

那珂川町 図書館

『オルゴール』



朱川湊人／著（講談社）
東京に住む小学生のハヤトは、同じ団地に住むおじいさんの「生に一度のお願い」を引き受けて、旅に出ることになりました。
福知山線の事故現場、父さんの再婚と新しい命、そして広島島の原爆ドーム。ハヤトは見るものすべてに価値観を揺さぶられながら、おじいさんの想い出のオルゴールを届けるため、鹿児島を目指します。
少年の心の変化や成長を丁寧に描き、命の大切さを伝える物語。

『お初の繭』



一路晃司／著（角川書店）
義務教育を終えたお初は、貧しい家計を助けるため、村から離れた製糸工場に奉公に出ました。
繭煮でむせ返る製糸工場の中で、故郷に残した家族のため、健気に耐えながら奮闘するお初たちを襲う、恐怖と悲劇とは。
「ペーシを捲る手が止まらない」と選考委員を唖らせた、日本ホラー大賞受賞作。プロレタリア・ホラーとも言っべき新しい恐怖がここに誕生。

『ボクたちに殺されるいのち』



小林照幸／著（河出書房新社）
日本では家族の「員」として可愛がられるペットがいる一方、飼い主の都合で捨てられてしまふペットが数多くいます。年間28万匹の犬猫が人間の都合で殺されている現実。
ペットを飼うことにはどんな責任がともなうのか？日本だけでなく、海外でも動物と人との関わり合いを見つめてきた著者が、ペットについて、その過酷な現状などを紹介します。

- ◇『ぎつちよんちゃん』 群ようこ／著（新潮社）
- ◇『マホロシの鳥』 太田 光／著（新潮社）
- ◇『親鸞と道元』 五木寛之／著（祥伝社）
- ◇『木暮荘物語』 三浦しをん／著（祥伝社）
- ◇『てこぼた』 寺田敏雄／著（日本放送出版協会）
- ◇『若様組まいる』 島中 恵／著（講談社）
- ◇『13歳のシーズン』 あさのあつこ／著（光文社）
- ◇『知れば知るほど面白い環境の雑学』 佐々木進市／著（ぎょうせい）
- ◇『お米の達人が教えるごはん基本帳』 西島豊造／著（家の光協会）
- ◇『まるごとクリスマスベシヤル』 『タシミアアコ』著（かもがわ出版）
- ◇『美しいおせちとおもてなし正月料理』 主婦の友社／編（主婦の友社）

ミニサッカー大会

FCアラノスポーツ少年団主催の第5回パナホームカップ那珂川ちびっこミニサッカー大会が、11月3日に小川総合福祉センター多目的広場で開催され、町内外から67チーム560名の選手が出場し、園児の部、小学2年生以下の部、小学3年生以下の部の3つのカテゴリーで競い合いました。

開会式では、桑野正光教育長からは「日本代表の長友選手や本田選手を目指して頑張ってください」とエールが送られました。

8面用意されたコートのあるこちらでボールを追いかける子供たちの姿に、保護者の皆さんから大きな声援が送られていました。



どんぐりの交流会

里山の森林保全と都市住民との交流を図ろうと那珂川町林業振興会主催のどんぐり交流会が、11月6日に小砂地区の里山で開催されました。

東京や神奈川などの都会から参加した皆さんは、自らどんぐりの実を植えたどんぐりポットと苗を植えたどんぐりキューブの里親となり、自宅の庭やベランダで育て、1年後、大きくなったどんぐりの木を山に植えて、里山の再生に一役買うこととなります。

苔などで盆栽風に思い思いに飾ったどんぐりキューブの出来ばえに皆さん満足そうで大事に持ち帰り、育て、1年後に再会することを約束していました。



秋の餅の祭りの

小砂焼体験センター陶遊館及び藤田製陶所で、11月6日と7日の2日間、秋の登り窯まつりが開催され、小砂焼陶器市のほか、ろくろや絵付け体験、地元有志による餅つきや模擬店などに多くの観光客が訪れました。



「那須のゆりがね」ゆりがねウォーク

なす風土記の丘資料館では、展示会「那須のゆりがね―産金の歴史―」に関連するイベントとして、「ゆりがねウォーク」が11月7日に開催されました。

このイベントは、町内の産金に関連する史跡を歩いてめぐること、那須の歴史について考えることを目的とし、併せて健康増進を図ろうとするもので、約50名が参加しました。

参加者は湯津上館からバスで移動し、大山下郷・大内・健武の3地区にある坑口を見て回りながら約10kmを歩き、少しずつ色づき始めた紅葉を見ながらいい汗を流していました。

今年から出荷が始まった温泉トラフグが起爆剤となり、町の活性化が図られることが期待されます。

下野ふるさと大賞
温泉トラフグが受賞

温泉を利用したトラフグの養殖事業を進めている那珂川町温泉トラフグ研究会が、この度、第7回下野ふるさと大賞を受賞し、11月9日に同研究会の野口勝明会長が、その報告に来庁しました。

今回の受賞は、産学官連携で地域資源を生かし、地域振興に取り組んでいることや、海なし県でトラフグを育てるといふ発想のすばらしさなどが高く評価されたもので、数々のマスコミにも取り上げられ、那珂川町の知名度アップにも貢献しました。



盛谷地区で紅葉・新そばまつり

11月13日、なごみの郷公園イベント広場（盛泉）でボランティア盛谷協議会主催の第3回紅葉・新そばまつりが開催されました。

益子盛会長からは、「私たちの地域は自分たちで活性化しようと、6年前から休耕田を活用してポピー園を整備してきました。今年も10月に種をまき、ボランティアで頑張っているのです。来年5月にポピーが咲く頃、ぜひ、皆さんに見に来てもらいたいです」とあいさつがありました。

会場では、地元特産品や新そばの販売のほか、ハワイアンダンスや地元歌手の歌謡ショーなどが催され、大いに賑わっていました。



盛谷地区で紅葉・新そばまつり

豊島区長が来町

11月10日、東京都豊島区から高野之夫豊島区長をはじめ、区議会議長や区観光協会長など21名が来町し、ふるさとの森公園の匠の館で昼食会を行いました。

豊島区長が来町

当町からは、大金町長や町議会議長・副議長、観光協会長などが出席し、高野豊島区長からは、「豊島区では、自然とのふれあいが体験できない。これからも那珂川町といろいろな形で長い付き合い合いをしていきたい」とあいさつがありました。



昼食後には、馬頭広重美術館や、ふくろうに縁のある鷲子山上神社を視察しました。



ゆりがねの湯 150万人達成

ゆりがねの湯では11月21日、利用者が150万人を突破しました。

150万人目となったのは、茨城県日立市の北澤敏雄さん・まさ子さん夫妻で、大金町長から花束と記念品が贈られました。

北澤さんは、月に2回くらいゆりがねの湯を利用しているそうで、「このようなことは生まれて初めてのことで本当に驚きましたが、とても嬉しいです」と笑顔で話していました。

ゆりがねの湯は、16年7か月で利用者150万人を突破したことになります。



児童館まつり

11月13日、児童館で旧第1保育園に移転し初めての第32回児童館まつりが開催され、小学生を中心に約130人が参加しました。

まず、岡館長から「馬頭地区からもたくさんの方の参加があり嬉しく思います。今日は一日楽しく過ごしていただき」とのあいさつがありました。

第1部では「楽しく遊ぼう」と題しヨーヨーつり、紙コップタワー、スライムを作るなどバラエティーにとんだ遊びを楽しみました。

第2部の「みんなでチャレンジ」では、ジャンボオセロ返しゲーム、新聞ボール合戦などチーム対抗でのゲームに挑戦。子供たちは元気がいっぱいに取り組んでいました。

児童館まつり



高久キクノさん 祝100歳

高久キクノさん（かたくりの郷）が11月25日に100歳を迎え、佐藤佳正副町長からお祝い金と花束が贈られました。

高久さんは、那須烏山市滝田の出身で、20歳で農家に嫁ぎ、米や葉タバコを栽培しながら、一男二女を育てたそうです。

働き者で穏やかな性格の高久さんは、農協婦人部の副会長なども務めたそうで、みんなで行った温泉旅行が良い思い出とのこと。長生きの秘訣を尋ねると「間食せず、毎日三食きちんと食べる」と応えてくれました。

また、お祝いに駆けつけられた家族に対し、「ありがとう」と笑顔で応えていました。

新春賀詞交歓会のご案内

平成23年の新春を迎えるにあたり、那珂川町町内関係者が一堂に会し、賀詞交歓を行うとともに、町及び関係機関・団体等の発展を祈念することを趣旨として、町、議会、商工会、観光協会、農協、森林組合の共催により、賀詞交歓会を開催します。参加を希望される方は、12月22日(水)までにお申し込みください。

日時 1月6日(木)午後4時～
場所 J Aなす南グリーンパル
会費 2,000円(会費は、申し込み時に納入してください。納入された会費はお返しできませんので、予めご了承ください)

申込方法 下記の各窓口においてある申込書に会費を添えて、次のいずれかの窓口にお申し込みください。

申込窓口

①役場総務課、②役場小川庁舎総合窓口課、③那珂川町商工会、④那珂川町観光協会、⑤J Aなす南本店、⑥那須南森林組合

問い合わせ 那珂川町役場総務課
☎0287-92-1111

成人式のご案内

町では、成人を迎えられたみなさんの新しい門出をお祝いする「成人式」を挙げていただきます。人生で一度しか経験できない成人式。ぜひ出席いただきますよう、ご案内申し上げます。

日時 1月9日(日)午前10時～
会場 小川総合福祉センター
あじさいホール

*新成人のみなさまへ

対象者(平成2年4月2日～平成3年4月1日までに生まれた方)には、案内状を送付しています。まだ届いていない場合は、生涯学習課までお問い合わせください。

なお、式典は、午前10時から開始しますので、午前9時40分までに受付を済ませてください。

*家族のみなさまへ

町外へ転出された新成人の方で、当町の成人式に出席を希望される場合は、生涯学習課までご連絡ください。

問い合わせ 生涯学習課
☎0287-96-2116

第1回 町民スキー教室
参加者募集

日時 1月15日(土)
総合体育館出発(途中、小川体育館に寄ります)

場所 マウントジーンズスキー場
募集人員 40名

※定員になり次第締切り
※中学生以下は保護者の同伴が必要
参加費 大人 2,500円
小人(中学生以下) 1,000円

申込締切 1月7日(金)

問い合わせ・申込先
生涯学習課 ☎0287-96-2116

第2回 町民スキー教室
参加者募集

日時 2月11日(金・祝)～12日(土)
総合体育館出発(途中、小川体育館に寄ります)

場所 新潟県苗場スキー場
募集人員 30名

※定員になり次第締切り
※中学生以下は保護者の同伴が必要
参加費 大人 23,000円
小人(小学生以下) 17,000円

申込締切 1月28日(金)

問い合わせ・申込先
生涯学習課 ☎0287-96-2116

町民大学「やる気を起こせば、必ず
奇跡が起きる」講演会の開催について

鹿兒島県鹿屋市の限界集落である柳谷地区(通称:やねだん)を立て直した公民館長の豊重哲郎氏の講演会が町民大学として開催されます。豊重氏はTBS系「夢の扉」～NEXT DOOR～など数々のテレビ番組や各地の講演会などで地域再生リーダー作りなどをテーマにした講演が絶賛されています。

町づくり地域づくりの「情熱」が実感できる講演会です。皆さんお誘いあわせのうえ是非ご参加ください。

日時 1月30日(日)午後1時30分～
場所 小川総合福祉センター
あじさいホール

申込方法 所定の申込書(今月の広報と一緒に配布)に必要な事項を記載の上、下記までお申し込みください。当日の整理券をお渡しいたします。

問い合わせ・申込先
生涯学習課 ☎ 0287-96-2116
FAX 0287-96-4545
山村開発センター
☎ 0287-92-2897
FAX 0287-92-0525

町営住宅の入居者募集

募集住宅

町営谷田上の原住宅(1戸)

部屋番号 2-2

間取り 3DK

入居時家賃 9,600円～14,400円

※所得に応じて決定します。

募集期間 12月15日(水)～28日(火)
その他 申込方法、入居資格等の詳細は、お問い合わせください。

問い合わせ 建設課管理係
☎0287-92-1118

社会的養護を担う
養育里親になりませんか?

保護者のいない児童または保護者が養育できない児童を自分の家庭に迎え入れ、愛情を込めて養育してくれる「養育里親」を募集しています。

養育期間は、①児童が社会的自立が可能となるまで、②保護者が児童を引き取れるようになるまでなど児童の状況に応じて異なります。

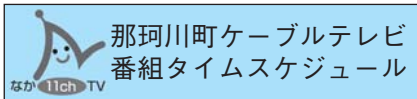
養育里親となるためには、原則6日間の研修の受講が必要です。

問い合わせ 栃木県北児童相談所
☎0287-36-1058

まほろばの湯の再開について

12月23日(木・祝)よりまほろばの湯の再開を予定しております。長期間にわたりご迷惑をおかけいたしました。皆さまのお越しをお待ちしております。

問い合わせ先
まほろばの湯☎0287-96-6100
商工観光課 ☎0287-92-1116



時間	番組名
5:30	ニュースN・TOWN
6:00	文字放送
6:30	
7:00	ニュースN・TOWN
7:30	アグリネット
8:00	文字放送
8:30	アグリネット
9:00	ニュースN・TOWN
9:30	文字放送
10:00	県政ピックアップ
10:30	クローズアップとちぎ
11:00	ニュースN・TOWN
11:30	文字放送
12:00	
12:30	ニュースN・TOWN
13:00	文字放送
13:30	
14:00	
14:30	
15:00	ニュースN・TOWN
15:30	文字放送
16:00	
16:30	
17:00	農林水産省気象情報(金土日除)
17:30	運び屋寄席
18:00	サイエンスCH THE MAKING
18:30	UHOフューチャーレスキュー
19:00	企画番組
19:30	ニュースN・TOWN
20:00	県政ピックアップ
20:30	クローズアップとちぎ
21:00	サイエンスCH THE MAKING
21:30	ニュースN・TOWN
22:00	NHKソフト
22:30	
23:00	ニュースN・TOWN
23:30	文字放送
0:00	
0:30	
1:00	ニュースN・TOWN
朝まで	文字放送

★お知らせ★

都合により予告なく番組を変更する事があります。EPGでの確認を、お願いします。

那珂川町営温泉浴場ゆりがねの湯 年末年始の営業のお知らせ

年末の営業は12月29日(水)まで、
新年は1月2日(日)から営業します。

年末年始の休業日

12月30日(木)～1月1日(土)
※なお、1月6日(木)は臨時休業日
とさせていただきます。

問い合わせ

商工観光課 ☎0287-92-1116

ゆりがねの湯 ☎0287-92-3023

平成23年中に使用する農業用免税軽油の免税証交付申請を受け付けます

免税証の交付を受けられる人

- 農業を営み農業用機械に軽油を使用する人
- 機械を使う作業全ての委託を受けて農作業を行い、農業用機械に軽油を使用する人

申請に必要なもの

- 420円(新規・更新)
- 印鑑
- 免税軽油使用者証
- 機械の詳細がわかるもの(新規・変更のみ)
- 免税軽油の引き取り等に係る報告書及び添付書類(納品書)
- 耕作面積の証明書(農業委員会で交付するもの)

※機械を使う作業全ての委託を受けて農作業を行う場合には、次のものが必要になります。

- 耕作(農作業受委託)証明書(農業委員会で交付するもの)
- 農作業受委託に関する契約書の写し

受付日程及び場所

受付日 1月6日(木)～7日(金)

時間 午前9時～正午

午後1時～4時

場所 小川総合福祉センター

すこやか共生館多目的集会室

問い合わせ

那珂川町農林振興課

☎0287-92-1113

矢板県税事務所 ☎0287-43-2173

広報「なかがわ」の録音テープ 希望者に提供します

私たち朗読ボランティアは、町身体障害者福祉会や町社会福祉協議会のご支援のもと、広報「なかがわ」をカセットテープに録音したものを希望者にお届けしております。

視覚に障害のお持ちの方、寝たきりで広報紙を読むことができない方などご希望の方はお問い合わせください。

問い合わせ 朗読ボランティア代表(蓮實) ☎0287-96-3148

高等工科大学《自衛隊生徒》募集

陸上自衛隊高等工科大学とは？

高等学校の普通科と同等の教育を受けながら、自衛官として必要な各種教育や訓練を受けます。生徒課程修了時『高等学校の卒業資格』を取得できるコースです。

応募資格 中学校卒業または卒業見込の方で、平成23年4月1日現在、15歳以上17歳未満の男子

受付期限 平成23年1月7日(金)

第1次試験 平成23年1月22日(土)

会場：大田原勤労者総合福祉センター

問い合わせ

自衛隊大田原地域事務所

☎0287-22-2940

ご存知ですか？ 脳脊髄液減少症について

「脳脊髄液減少症」は、交通事故や転倒・スポーツ外傷等、身体への強い衝撃により、脊髄硬膜から脳脊髄液が漏れ、頭痛や首の痛み・めまい・吐き気・耳鳴りなどのさまざまな症状が現われるのが特徴です。

自律神経失調症やうつ病と症状が似ているため、周囲の誤解を受けやすく、まだまだ研究途上であり、診療できる医療機関も少ない現状ですが、栃木県ホームページ等で情報が得られます。

栃木県ホームページアドレス

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/welfare/iryuu/ippan/1191222336302.html>



たまごのクリスマスおはなし会

- ・12月16日(木)午前10:30～
- ・場所 馬頭福祉センター 和室
- おはなしグループたまごのクリスマスおはなし会です。
サンタさんが来て、素敵なプレゼントをくれるよ!

工作教室(無料)「クリスマス飾りをつくろう」

- ・12月18日(土)午前10:00～
- ・場所 馬頭図書館 視聴覚室
- ・講師 小川平吉氏
- ・折り紙やチラシを使ってリースをつくります。
- ・募集人数 15名(先着順)
- ・申し込み 電話(☎0287-92-5015)か、馬頭・小川図書館のカウンターへお申し込みください。

小川おはなし会

- ・12月18日(土)午後2:00～
- ・場所 小川公民館 2階
- ボランティアさんによる絵本の朗読や紙しばいです。

JVCのおはなし会

- ・12月19日(日)午後2:00～午後3:00
- ・場所 馬頭図書館 児童室
- ジュニアボランティアクラブによるおはなし会です。

たのしい絵本と紙しばいの会

- ・1月6日(木)午前10:30～
- ・場所 馬頭図書館 視聴覚室
- 小さいお子さまのためのおはなし会です。

婦人ボランティアのおはなし会

- ・1月8日(土)午後2:00～
- ・場所 馬頭図書館 児童室
- ボランティアさんによる絵本の朗読や紙しばいです。

馬頭図書館・小川図書館の休館日(12/16～1/15)

年末年始休館：12月28日(火)～1月4日(火)
共通：12月23日(木)、1月10日(月)

馬頭図書館休館日

12月20日(月)、27日(月)
1月11日(火)

小川図書館休館日

12月17日(金)、24日(金)
1月7日(金)、14日(金)



今年のゆりがねマラソンの2km親子ペアの部には、67組の親子が参加し、全員、無事完走しました。

今月の表紙

の声を、受け、家族で、さば、減、な、ゴ、ま、し、い、ました。

なかよしひろば

- ・12月16日(木)午前10:00～
- クリスマス会をしよう。プレゼントもあるよ。
- ・参加費 100円
- ・参加申し込み 12月12日(日)まで

チャレンジクッキング

- ・12月18日(土)午前10:00～
- クリスマスのお菓子「スノーボール」をつくります。
- ・持ってくるもの エプロン、三角巾
- ・参加費 50円
- ・参加申し込み 12月16日(木)まで

クリスマス会

- ・12月23日(木)午前10:00～
- みんなで楽しくパーティしましょう。
- お友だちを誘って申し込んでネ!
- ・参加費 50円
- ・参加申し込み 12月21日(火)まで

冬休みお楽しみ会

- ・12月27日(月)午前10:00～
- 冬休みを楽しくすごそう。
- ・参加申し込み 12月23日(木)まで
- ・参加費 無料

生け花教室

- ・12月28日(火)午後1:30～
- お正月用の花を生けます。会員でない方も大歓迎!
- ・花代 1,000円
- ・参加申し込み(会員以外) 12月22日(水)まで

たこつくり教室

- ・1月5日(水)午前9:30～
- 簡単でよくあがる「ぐにゃぐにゃだこ」を作ろう!
- 親子での参加もOKです。
- ・参加費 50円
- ・参加申し込み 12月27日(月)まで

お正月あそびをしよう

- ・1月7日(金)午前10:00～
- 福笑い、すごろく、百人一首などのお正月あそびをしましょう。おやつはおいしい抹茶とお菓子です。
- ・参加申し込み 1月5日(水)まで
- ・参加費 無料

なかよしひろば

- ・1月13日(木)午前10:00～
- お正月あそびをしよう。
- ・参加費 50円
- ・参加申し込み 1月11日(火)まで

「児童館」

12月16日～1月15日
のお休み

開館時間 午前9時～午後4時

☎0287-96-3109

日	月	火	水	木	金	土
				12/16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	1/1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15

那珂川町の文化財シリーズ

木の実と石皿・磨石

なす風土記の丘資料館では毎年、田んぼで古代米を栽培しています。今年も11月上旬に稲刈りをしました。脱穀して稲糊が貯えられると、いよいよ冬だなと感じます。

現在のような水田稲作が始まる弥生時代よりも前、縄文時代の人たちは何を主食にしていたのでしょうか。縄文人

という、動物を狩ったり、魚を獲ったりするイメージが強いかもしれませんが、実は木の実を主食にしていました。採集によって得られるクルミやクリ、トチなどの実は、重要な食料だったのです。縄文人がそれらの木の実を磨りつぶすのに使っていた、



石皿と磨石
(三輪仲町遺跡出土)

石皿と磨石という石器があります。小川館にある復元された竪穴住居内に展示されており、町内の縄文時代の遺跡からも多数出土しています。皿のように内側が窪んだ石皿を下に置き、丸い磨石を手に持って、すり鉢のような使い方をする道具でした。使込まれて、石皿や磨石の表面はなめらかになっています。石でつくられた道具ですが、長い間に磨り減ってしまい、真ん中がとでも深くなった石皿もあります。持ち運びするような道具ではなく、竪穴住居などに置かれて、代々使われていく道具でした。縄文時代の遺跡からは、粉にした木の実を動物の肉や鳥の卵と混ぜて焼いた、縄文クッキーと呼ばれる物が炭化した状態で見つかっています。縄文人たちは、このように木の実を食べていたようですが、磨りつぶすのはあく(植物の

持つ渋味や苦味など)を抜くためでもありました。

木の実の中でも、クリやクルミの実はいくつかあります。が、トチや大部分のドングリはあくが強く、そのままでは食べられません。あくを抜くためには実を砕いて磨って粉にしてから、水にさらしたり、灰を入れて煮たりしなくてはなりません。

木の実の地面に掘った貯蔵穴に貯えておいて、食料がほとんど採取できない冬に備えました。縄文人が寒い冬の間

に、貯蔵穴から出した木の実を、炬(火を燃やす場所)の近くで磨りつぶしたこともあったでしょう。現在の生活では、冬の間の食料の貯えで悩むようなことはありませんが、暖かい春は、やはり待ち遠しいものです。

(なす風土記の丘資料館)

学芸員 永森裕子

12月1日現在の人口

(住民基本台帳)

男 9,618人(-3)
女 9,552人(-10)
計 19,170人(-13)
世帯数 6,137 (-1)
()内は前月との比較

小川館イベント情報

●冬休み小中学生向け展示会

「卯(うさぎ)を考古学する」

会期 1月30日まで

休館日 月曜日(祝日開館)、祝日の翌日、年末年始

●ミニ門松づくり

日時 12月19日(日)

午前9時30分～正午

定員親子10組 参加費500円

●講演会「栃木の峠」

講師 桑野正光氏

日時 12月19日(日)

午後1時30分～3時

定員 70人 入場無料

●年賀状展

募集中、1月に展示します。

問い合わせ 小川館

0287-96-3366

てぶくろ

(氏名)(父母の名)(住所)

熊田 優菜 則昭 健武

山本 りお 美智子 健武

大武 聖也 健二 富山

小泉 玲音 智史 小川

江口 璃虎 貴太郎 小川

大森陽菜詩 慎吾 小川

相ヶ瀬心翔 圭美 谷田

石井 翔稀 和哉 片平

おくやみ

(氏名) (年齢) (住所)

菊地 好男 (57) 馬頭

齊藤 ユキ (98) 馬頭

福田 キミ (97) 馬頭

小船イチエ (93) 健武

荒井 勝明 (88) 矢又

星 キヨ子 (74) 矢又

菊池 昌夫 (66) 矢又

大金 國七 (101) 和見

藤田 千鶴 (96) 和見

大金 宗隆 (90) 小口

磯野 千浪 (82) 北向田

五十嵐一也 (48) 松野

小口 ミネ (98) 松野

高野 通行 (94) 富山

福田 ミヨ (98) 谷川

深澤 タミ (78) 大山上郷

川崎 秀勝 (82) 大山上郷

笹沼真一郎 (76) 小砂

菊池 光雄 (89) 小砂

森島 タマ (72) 小川

川上真理恵 (29) 小川

佐藤 留治 (79) 小川

矢野目靖之 (65) 小川

佐藤 フサ (86) 芳井

※掲載は希望者のみです。
10月21日～11月20日
受付分 敬称略



開館10周年・合併5周年記念 企画展
— 星野道夫 アラスカの旅 —



撮影 星野道夫

いま、馬頭広重美術館の第2展示室では「星野道夫アラスカの旅展」を開催しています。星野氏が撮影した作品58点で構成しています。作品は地球の厳しい自然の中だからこそ存在し得た多くの植物や動物たちがテーマになっています。その多くは今日の日本の自然環境では体験できないものばかりです。第2展示室はシロクマの親子からはじまります。右側を見つめ、その先の展示ケースにはシロクマの親子や兄弟たちが展示されています。シロクマは別名ホッキョクグマとも言われ、ヒグマと共にクマ科に属し体長は250~300cmで体重は300~450kgになります。しかし近年北極の氷が溶け始め、数十年以内で絶滅するのではないかと危惧されています。次のコーナーは、グリズリーの愛称で親しまれているハイログマです。親子を中心に川で鮭を捕えたり威嚇している場面の作品が続きます。ハイログマの大きさは体長約250cm、体重300~400kgで世界中に分布していましたが、現在はシロクマ同様に頭数が激減しています。次はカリブーです。春頃からアラスカからカナダにかけて植物を求めて移動し途中で群れが合流して数百万頭の集団に膨れ上がり、世界規模においても最大級の移動です。その他にもオオカミ、ワタリガラス、シロフクロウ、ハクトウ

ワシ、ラッコ、ザトウクジラ、トーテムポール、深い緑の森、オーロラなどの作品を展示しています。アラスカの大地に暮らす様々な生物や植物を撮影した星野道夫氏の愛情の深い作品を鑑賞していただければ幸いです。確実に人々の心を癒してくれるはずです。

馬頭広重美術館 主任学芸員 市川信也

【会 期】 平成23年1月10日(月・祝)まで

【開館時間】 午前9時30分~午後5時まで
(但し入館は午後4時30分まで)

【休 館 日】 月曜日、祝日の翌日及び
1月11日(火)~14日(金)

【年末年始の休館】 12月27日(月)~1月3日(月)

【入 館 料】 大人 500円(450円)
高・大学生 300円(270円)

※()は20名以上の団体料金

※70歳以上の高齢者、中学生以下は無料

※障がい者手帳等をお持ちの方は無料
(付き添い1名のみ半額)

ミニギャラリー
作品募集!

あなたの作品をここに出展
してみませんか?

絵画、写真、絵手紙などの作
品をお待ちしております。

問い合わせ:企画財政課

☎0287-92-1114



夕焼け賞「夕日に染まる那珂川」
釜井 三木さん(宇都宮市)

ミニ
ギャラリー

観光協会
写真コンテスト
受賞作品



優秀賞「クライマックス」
小林 正行さん(大田原市)